

I. 平成30年度の取組みの実績

グループ名称	福岡県健康住宅促進協議会				
H30採択グループ番号	07	—	0128	—	0720

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ構成員(施工店)のグリーン化事業の対象住宅を利用して完成見学会等で制度の説明等を消費者へ積極的に行った。 ・完成見学会や構造見学会を通じて事務局が中心となって設計士を講師として研修会を行い耐震性能や省エネ性能を有した住宅の必要性を意見交換などを通してグループ構成員と行った。 ・事務局がより省エネ講習の情報やコストダウンを図る方法など建材、設備メーカー担当者等交えて意見交換を行った。
----	---

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/08/20	名称	グリーン化説明会		
	内容	グリーン化事業のグループ採択後にH30年度の事業内容及びグループの方向性、現場説明会などの予定などの説明を行い今後の日程等の確認等や質疑応答で終了した。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/09/22	名称	完成見学会 1		●
	内容	グループ構成員の施工事業者がグリーン化事業申請建物(H29年度分)の完成に合わせてお施主様より建物をお借りして完成見学会を開催した。見学建物の一室をお借りしてグリーン化事業の取組や長期優良住宅、認定低炭素住宅、ゼロエネルギー住宅等の内容説明及び見学による仕様説明等を行った。長期優良住宅や省エネ住宅に関する質問が多くありグループとして取組みを理解して貰えた。						
	消費者説明会 2	有	開催日	2019/02/16	名称	完成見学会2		●
	内容	完成見学会1に続き他の地域でグループ構成員の施工事業者がグリーン化事業申請建物(H30年度分)の完成に合わせてお施主様より建物をお借りして完成見学会を開催した。見学建物の一室をお借りしてグリーン化事業の取組や長期優良住宅、認定低炭素住宅、ゼロエネルギー住宅等の内容説明及び見学による仕様説明等を行った。長期優良住宅や省エネ住宅に関する質問が多くありグループとして取組みを理解して貰えた。						
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/09/23	名称	完成見学会 1	タイプ	見学会
	工務店研修会 2	有	開催日	2018/11/27	名称	構造説明会	タイプ	見学会
	工務店研修会 3	有	開催日	2019/02/16	名称	完成見学会2	タイプ	見学会
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み ①	サポートの有無 1	有		
	内容	消費者への説明会(完成見学会)に平行して又、工務店研修の構造見学会において設計士を講師としての研修会の開催や、事務局が設計事務所として各工務店に個別訪問し流れ等を説明し個別に相談を受け疑問点などの意見交換を行っている。		
取組み ②	サポートの有無 2			
	内容			
取組み ③	サポートの有無 3			
	内容			

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	0	発行予定	0
② 住宅履歴情報の保管先	グループ	機関名		

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	グループ構成員の廃業時には長期維持管理のサポートがグループ内の別の構成員に引き継げる様に対応指針の作成(基金の積み立てを基に引き継ぐ構成員を消費者へ紹介及び対象住宅の検査等を行う)。	
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	事務局より省エネ講習会の日程などグループ各社へ情報発信し、関係者全員が講習を受ける事を目標とし又、構造見学会時に現地において断熱材の施工方法や開口部の仕様などの省エネ研修を行った。	
省エネ化に対する取組 ②		
内容		
BELS工務店の登録数	0 社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	福岡県健康住宅促進協議会				
H30採択グループ番号	07	—	0128	—	0720

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/08/26	名称	グリーン化説明会		
	内容	毎年行っているグリーン化事業のグループ採択後に本年度の事業内容の説明及びグループの方向性、共通ルール、現場説明会などの予定を取りまとめグループの活動報告の説明を行い今後の日程等の確認等や質疑応答を行う。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/09/21	名称	完成見学会1		
	内容	グループ構成員の施工事業者がグリーン化事業申請建物(H30年度分)の完成に合わせてお施主様より建物をお借りして完成見学会の予定。見学建物の一室をお借りしてグリーン化事業の取組や長期優良住宅、認定低炭素住宅、ゼロエネルギー住宅等の内容説明及び見学による仕様説明等を行う。						
	消費者説明会 2	有	開催日	2019/11/16	名称	構造見学会		
内容	グループ構成員の施工事業者がグリーン化事業申請建物の着工に合わせてお施主様より建物をお借りして構造見学会の予定。建物の構造、仕様内容を見学して頂き完成後には見る事の出来ない部分の説明で長期優良住宅、認定低炭素住宅、ゼロエネルギー住宅等の内容説明を行う。							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/09/21	名称	完成見学会1	タイプ	見学会
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/11/16	名称	構造見学会	タイプ	見学会
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	H30年度に引き続き、消費者への説明会(完成見学会)に平行して又、工務店研修の構造見学会において設計士を講師として内容説明などの研修を行い、事務局が各工務店を個別訪問し流れ等を説明し個別に相談を受け疑問点などの意見交換を行う。新規参加の未経験工務店には特に個別訪問も増やし事業の流れや取組、営業サポートも行ってみたい。						
取組み②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	スマイルコミュニケーションズ いえかるて
------------	----------	-----	----------------------

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	グループ構成員の廃業時には長期維持管理のサポートがグループ内の別の構成員に引き継げる様に対応指針の作成、新たに創設予定の基金の積み立てを基に引き継ぐ構成員を消費者へ紹介及び対象住宅の検査等を行う。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み(新築)	有						
内容	事務局より省エネ講習会の日程などグループ各社へ情報発信し、関係者全員が講習を受ける事を目標とし又、構造見学会時に現地において断熱材の施工方法や開口部の仕様などの省エネ研修を行う。						
省エネ化に対する取組み(改修)	有						
内容	グループ構成員の既存OB客を対象に住宅の省エネ化に向けた案内状の作成又、新築完成見学会用のチラシ(表面に新築の内容、裏面に省エネ改修の内容)を作成し配布する。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/08/26				
内容	毎年行っているグリーン化事業のグループ採択後に本年度の事業内容の説明及びグループの方向性、共通ルール、現場説明会などの予定を取りまとめグループの活動報告の説明を行い合わせて省エネ改修についての研修会を行う。						
研修計画 ②		実施日					
内容							

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	福岡県健康住宅促進協議会				
H30採択グループ番号	07	—	0128	—	0720

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	①耐震等級2以上を担保した、地震に強い安心な家。 ②主要構造部の劣化対策必要部位に乾式加圧注入されたAQ認証材(JAS K3相当)を使用した高耐久な家。 ③主要構造材(柱、梁桁、土台)は地域材及びJAS材を90%以上使用した家。 ④空気環境にこだわった、健康快適な家。 ⑤省エネ等級4を確保しつつ、通風に配慮した家。 上記の内容を踏まえ「安心と笑顔のあふれる家」を全て注文住宅で施工する。
----	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満	50%以上	80%以上	■
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明			
主要構造材	土台	有	主要構造材(柱、梁桁、土台)は地域材及びJAS材を90%以上使用する。	
	柱	有		
	梁・桁等の横架材等	有		
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無		
造作材	枠材、廻縁等	無		
板材	壁板、床板等	無		

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有
内容	地域材の供給構成員から価格状況、在庫状況を事務局に報告してもらい、事務局はグループの施工事業者から物件予定等の確認、着工情報を取りまとめ納材事業者の共同化を行い、必要数量の在庫確保を流通構成員に依頼する。
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有
内容	グループとして仕様内容により専用品(キッチン、浴室、洗面、トイレなどは各設備メーカー等と提携)の取りまとめを行い標準仕様として提案出来る様になっている。又、専用品等でメーカーに価格協力を要請し納材業者の共同化によるコストの削減に取り組む。
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有
内容	地域材・建材・資材の供給構成員から在庫状況を事務局に報告してもらい、事務局はグループの施工事業者から物件予定等の確認、着工情報を取りまとめ在庫状況をグループ各社へ発信する。
④ 施工に関する統一ルール	有
内容	地域材の使用に伴い資材の寸法の規格化により耐震等級2以上を担保する為に、柱の梁に対する直下率をあげた共通設計ルールの作成。 仕様書・耐震基準・省エネ基準を含めた施工基準書等に基づく施工の実施
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有
内容	長期維持管理計画書に基づき、定期点検チェックリストによる定期点検を実施する。又、住まいカルテを作成しお客様用と施工事業者用の同じカルテを作成保管する。
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有
内容	グループ構成員の設計事務所による設計士が公的機関及び瑕疵担保責任保険の検査以外に各現場ごと着工時(基礎配筋)上棟時、中間時、完了時の4回の個別検査を行い品質確保に取り組む。
⑦ 見積りに関する統一ルール	有
内容	共通書式として項目、明細等の標準見積書を作成し、設計CADの共通化により積算数量を明確化し、お客様がわかりやすい書類の整備を行う。
⑧ その他の共通ルール	有
内容	グループ施工事業者が消費者への営業段階においてプラン作成等の依頼をグループ設計事業者が無償で行えるよう、依頼書の内容の統一など事務局も含めてバックアップ体制を取っている。

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	各グループ構成員の各事業者が週休2日制を採用している。(曜日については各事業者により異なる)
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	キャリアアップのための講習会や国、各種団体の研修会等へ積極的に参加し、技能の向上に役立てて行けるよう事務局より情報を提供し又、優れた技能等を発揮しグループの発展に寄与した者については表彰等を行う。
③ 社会保険への加入	有	内容	グループ構成員の法人格の事業所は全て加入しているが個人事業の構成員は国民保険の他に建設労働保険に加入をしている。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	各グループ構成員事業所単位で安全会議を行っているが、グループ全体で講師を招いて安全講習大会を実施予定。

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	福岡県健康住宅促進協議会				
H30採択グループ番号	07	—	0128	—	0720

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	プランニング時に畳の活用性等を含めた提案により和室又は畳コーナーなど取り入れた設計を行う。
② 和瓦の活用	有	内容	プランニング時の外観デザインにおいて和瓦を利用した外観の提案を行う。
③ 襖・障子の活用	有	内容	畳を活用する取組みにあわせて和室の造作の提案で押入れや間仕切りに襖を又、窓の内側には障子を設置する事で和室のイメージ提案を行う。
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	地場産業活性化や地域特性を生かした素材、木工品、特産品家具などを積極的に提案を行う。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	現地調査を施工事業者と設計士又、施主に参加してもらい近隣の街並みに合わせた(宿場町等)伝統的な意匠を積極的に提案する。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	地域の近隣の方々との触れ合いが出来る様な間取りや外構などを提案する。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	地域の街並みに合わせ石垣や植樹を使った外構など地域の方々とのコミュニケーションが取れる設計提案を行う。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み	<p>流通業者を中心として東北地域の建材、商材を模索しグループ技術部会で提案し採用の活用を検討する。</p>		
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み	<p>H30年度にグループ事務局代表者が別組織(北部九州工務店ネットワーク)の役員を務め、全木協福岡県協会の一員として福岡県との災害協定を結んだことにより他の組織との連携も視野に入れ、いつ起こるか分からない災害に対して研修等にもグループとして参加を予定している。</p>		